

三一五九番

湊みなと廻まに 満みち来くる潮しほの いやましに 恋こひは余あまれ
ど 忘わすらえぬかも

三一六〇番

沖おきつ波なみ 辺へ波なみの来き寄よる 貞さだの浦うらの このさだ過すぎ
て 後のち恋こひむかも

三一六一番

在ありち瀉がた あり慰なぐさめて 行ゆかめども 家いへなる妹いもい
いふかしみせむ

三一六二番

みをつくし 心こころ尽つくして 思おもへかも ここにも
もとな 夢いめにし見みゆる